

書牘卷之一（三 往信）

婚姻祝儀状

一筆啓上いたし候、益

御機嫌能渡らせら

れ、珍重ニ存候、然ハ、今

般滞なく御婚姻御

整之よし、目出たき

御事爾に御座候、依而御祝

儀の験爾までに、松魚

節一箱、酒一樽、差

進し候間、幾久敷御

受納下され度候、謹

言、

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。

書牘卷之一（三 返信）

御状拝見いたし候、暖

和之節爾處に候処、弥御

勇健珍重之至ニ存

候、者偕は、今般婚儀取

結候爾に付、御祝ひとし

て、松魚節一箱、美酒

壺樽、御贈下され、有

かたく存候、余餘者は拝顔

之上、御礼申述へく候、

謹言、

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。